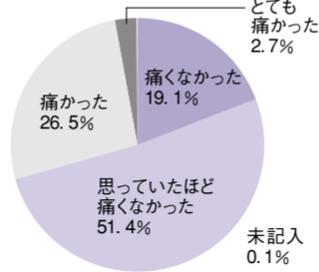




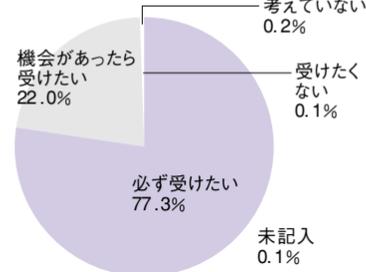


図 乳がん検診アンケート調査結果

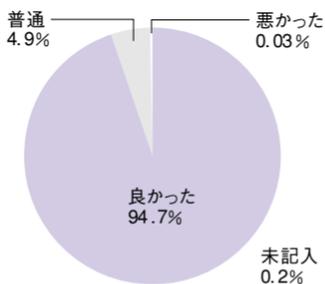
1.マンモグラフィ検査は痛かったですか? (n=9039)



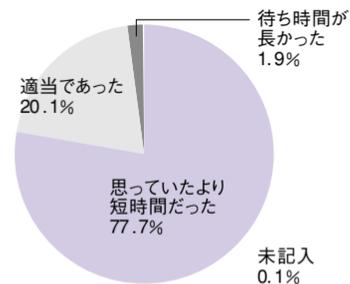
2.乳がん検診をまた受けてほしいですか? (n=6582)



3.スタッフの対応はどうでしたか? (n=9039)



4.検診時間はどうでしたか? (n=6582)



# 「痛くなかった」70% 「また受けてほしい」99%

【一面関連記事】本会では2002年よりマンモグラフィ(マンモ)を乳がん検診に導入、04年には検診車による住民検診を開始するなど、乳がんマンモ検診の体制整備を進めてきた。またそうした取り組みと併行して、マンモ読影委員会を立ち上げるなど、検診の精度管理にも力を入れている。この度、このような活動の一環として、乳がんマンモ検診が、受診者にとりどのように受けとめられているかを把握し、サービスの向上を図るため、「検査に伴う痛みや」スタッフの対応」などに関する受診者意識のアンケート調査を行ったので、その結果について報告する。

今回の調査は、2004年11月から06年3月の期間に、市町村の協力を得て、乳がん検診車による検診を受診した7地区、9388人を対象に行い、9039人(96%)から回答が寄せられた。

調査結果では、「マンモ検査を受けたことがありませんか」との質問に、75%の人が「初めて受ける」と回答し、「以前に受けたことがある」人は25%で、大半の方がマンモ検査は初体験であった。

また、「マンモ検査は痛かったですか」との問いには、「痛くなかった」との回答が19%、「思っていたほど痛くなかった」との回答が51%で、合わせて70%の人が「痛くなかった」と回答、これに対し、「痛かった」は27%、「とても痛

かった」は3%であった(図1)。

本会では、リラックスして検査を受けてもらえるように、受付時に加えて撮影時にも、技師が受診者と一緒に撮影方法や目的について説明しており、多少痛みが伴う場合があることに関して、あらかじめ受診者の理解を得られていることが、このような回答に表れたものと思われる。

さらにこの回答を裏付けるように、「乳がん検診をまた受けてほしいですか」との問いに、「必ず受けてほしい」と答えた人が77%で、「機会があったら受けてほしい」と答えた22%と合わせて99%の人が「また受けてほしい」と回答している(図2)。

また、検診スタッフの対応については、「良かった」が95%、「普通」が5%の回答であった。また、わずかであるが0.03%(3人)が「悪かった」と答えている(図3)。

コメント欄でも「スタッフの対応が親切でよかった」、「スタッフ全員が女性で安心して受診できてよかった」との感想が多数寄せられており、運営にあたる本会スタッフにとっても、今後の励みとなっている。

受付から検診終了まで、一人当たり約1時間の所要時間については、「思っていたより短時間だった」との回答が78%、「適当であった」が20%で、「待ち時間が長かった」と回答した人は2%にすぎなかった(図4)。

## 乳がんマンモ検診アンケートを実施

本会

「診察(視触診)」「ビデオ放映」「検診日の設定方法」などについて質問しており、全般的に「おおむね好評」と受け取れる回答であった。

乳がん検診を担当する本会のスタッフは、「今回の調査結果を踏まえ、受診者の意識に配慮し、さらに検診を充実させるとともに受診率アップにつなげたい。また、マンモ検診に対する受診意欲の高さが確認されたので、検診のPRや受診者様の拡大など、今後の行政の対応にも期待したい」としている。

受付から検診終了まで、一人当たり約1時間の所要時間については、「思っていたより短時間だった」との回答が78%、「適当であった」が20%で、「待ち時間が長かった」と回答した人は2%にすぎなかった(図4)。

診察の待ち時間に「自己触

## 敷地内全面禁煙をスタートします 2007年1月から——本会

たばこは、がんや虚血性心疾患などさまざまな疾患の原因となり、深刻な健康被害をおよぼすことから、その対策が世界的な規模で進展しています。

本会では、2003年5月に施行された健康増進法を受け、03年12月1日より、指定の喫煙場所以外の全面禁煙を実施しています。

このほど、①本会の社会的使命ならびに理念として、あらゆる年齢層のみなさんの健康の維持・増進を図ることが求められていること。さらに職員等の健康保持のために受動喫煙防止の徹底が必要であること。②厚生労働省「標準的な健診・保健指導のあり方に関する検討会」の中で、健診・保健指導の委託基準とし

て敷地内禁煙が求められていること。③禁煙外来開設にむけて、敷地内禁煙が条件となっていること。などを踏まえ、2007年1月1日から、本会の敷地内全面禁煙を実施するにいたしました。

本会は、今後もみなさんの健康づくりをサポートする健康増進・健康管理支援機関として、安心して受診いただける環境づくりを努めてまいります。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

1月31日(水)午後2時~4時  
東京・永田町「星陵会館」

第211回ヘルスケア研究会が1月31日(水)午後2時から4時まで、東京・永田町の「星陵会館」で開かれる。「職場の健康教育—健康管理を考えなおす」をテーマに、健康管理コンサルタントセンター会長の岡野治氏が講演する。司会は、職域保健・産業看護学専攻の飯島美世子氏。

会場の「星陵会館」は、地下鉄各線「永田町」「国会議事堂前」「溜池山王」「赤坂見附」駅下車、徒歩10分以内のところ。参加費2000円。定員先着400人。

このほか研修会では、「超音波検査の歴史—集検超音波検査」、「乳腺超音波検査—MMGとの比較」をテーマとして、「症例の読み方、検討」などの講義やフリーディスカッションが行われ、活発な意見交換が展開された。

## 第84回技術研修会・生理機能検査研修会が開かれる



予防医学事業中央会が主催する第84回技術研修会・生理機能検査研修会が11月9日、10日の両日、東京で開催される。

本会など予防医学事業中央会の各県支部で生理機能検査に携わっている技師約30人が参加した(写真)。

今回の研修会では、頸動脈超音波検査が取り上げられ、心臓血管研究所の上嶋徳久医師が「頸動脈超音波検査—血流波形から何がわかるか」と題する講義を行った。

頸動脈超音波検査は、総頸動脈の血管壁の厚さやプラークの状態をみることで動脈硬化の状態を確認する検査であり、労災2次健診の必須項目である。本会で実施している事業所の健康診断でも、労災2次健診の対象者となる高血圧、高脂血症、高血糖、肥満の4つすべてに所見があった人は、受診者の1・3%(男性1・6%、女性0・6%)という成績であり、こうしたハイリスク者への脳・心臓血管疾患予防をいかに行うかが課題となっている。

上嶋医師は、「頸動脈超音波検査では動脈硬化を定量的に評価できる。また視覚に訴えるため生活習慣病指導への誘導を高める効果もある」と述べ、計測方法や注意点を解説するとともに、事例紹介を行った。

このほか研修会では、「超音波検査の歴史—集検超音波検査」、「乳腺超音波検査—MMGとの比較」をテーマとして、「症例の読み方、検討」などの講義やフリーディスカッションが行われ、活発な意見交換が展開された。

### お知らせ

第211回ヘルスケア研究会  
職場の健康教育  
健康管理を考えなおす

## 血圧に依存しない動脈硬化指標

## CAVI Cardio Ankle Vascular Index

$$PWV = (\text{動脈の硬さ}) + (\text{測定時血圧})$$

測定時の血圧が高くてもPWV(脈波伝播速度)は上昇します。CAVIは「スティフネスパラメータβ」を用いた、測定時の血圧に依存されない「血管固有の硬さ」を評価する指標です。

### 血圧脈波検査装置

## VaSera™ VS-1000

CAVI ABI BPB

3つの指標で動脈硬化の診断をサポート。

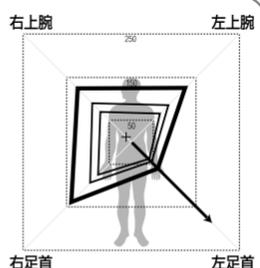
医療機器承認番号: 21400BZZ00132000



■ASO患者(左足狭窄例)

四肢の血圧バランスから虚血部位が一目でわかる  
**BPBalance**  
を搭載!

●四肢の血圧の状態を図で示すことにより、虚血部位が視覚的にわかります。



本社 / 〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代) <http://www.fukuda.co.jp>  
お客様窓口 / ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00  
●医用電子機器の総合メーカー **フクダ電子株式会社**